

ふるさとのみなさんへ

東都高原富士見会だより

東都高原富士見会は、会員の親睦を深めるとともに、「何かふるさとの役に立ちたい」と、郷土の文化普及と発展に協力することを目的として活動しています。

4月20日(土)に総会が行われ、ご来賓として、富士見町から副町長、産業課長、商工観光係長、開発公社常務理事、高原リゾート社長のご出席をいただきました。

会員の多くは80歳代となり、実家や親戚も富士見を離れた方々もいる中、富士見の方に出席いただけるこの総会は、懐かしい郷里の話聞くことのできる、貴重な機会となっております。



来賓のあいさつの中で、昨年の台風で発生した、土石流による甚大な被害が発生したこと。しかし、多くの方の協力の元、順調に復旧が進んでいるとの話に、ホッと胸をなでおろしました。

苗木を贈らせていただいた「ゆめひろば富士見」からは、子ども達の元気な声が響いているとの話題では、会員の顔もほころびました。

4月には「カゴメ野菜生活ファーム」がオープンし、また新たに富士見町の産業・観光の発展が見込まれ、年間を通じた町への集客を目指すお話を伺いました。

富士見町の益々の発展を期待し、今後も応援させていただきます。

(文責・池田みかほ)

広告

広告